

令和元年6月16日現在

機関番号：15501

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2018

課題番号：15K02439

研究課題名(和文) 徳山毛利家棲息堂所蔵漢籍の書誌学的研究と分類目録の作成

研究課題名(英文) A Bibliographic Study on the Chinese Classics of the Tokuyama-Mori Clan in the Seisokudo Library and the Creation of a Classified Index.

研究代表者

根ヶ山 徹 (NEGAYAMA, Tohru)

山口大学・人文学部・教授

研究者番号：20218267

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：徳山毛利家棲息堂旧蔵漢籍の詳細な書誌調査をおこない、既に公刊されている宮内庁書陵部編『和漢図書分類目録』(1951)及び「書陵部所蔵資料目録・画像公開システム」に見られる疑問点を明らかにし、遺漏等を補うことができた。加えて、宮内庁書陵部編『図書寮典籍解題 - 漢籍篇』(1960)等に基づき、稀覯書・善本についても詳細な書誌調査をおこなった。以上の調査については、本研究において定めた採録すべき書誌項目、すなわち四部分類・書名・巻数・撰者・鈔刻・分類番号・印記・備考に分ち、すべてをデータとして記録した。その結果、「宮内庁書陵部蔵徳山毛利家旧蔵漢籍分類目録」の礎稿を完成させることができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

徳山藩毛利家棲息堂旧蔵漢籍の全体像を明らかにすることにより、全国規模で作成されつつある漢籍データベースにリンクすることが可能となり、本邦における和漢書の集積に寄与することができる。また、毛利元次以来継承され、構成されてきた蔵書群を総合的に把握することにより、徳山藩毛利家の知の原点を探り、同家の知的財産の水準について、客観的・具体的に解明することが可能となる。徳山藩毛利家において貴重された文書は何か、学芸的特徴は何かといった疑問に充分に答えるため、本研究は先蹤ともなり得るものである。とりわけ、棲息堂旧蔵漢籍のうち、稀覯書の精査は、中国学領域における新知見の提出に寄与することができるのである。

研究成果の概要(英文)：Through a detailed bibliography investigation on the Chinese Classics in the Seisokudo Library of the Tokuyama-Mori Clan, this study clearly indicated the problems and supplemented the insufficient points on “Wakan Toshō Bunrui Mokuroku” (1951) published by the Imperial House Library and “Archives and Mausolea Department Catalog and Image Disclosure System”. Furthermore, the current study gave an explicit bibliography inquiry according to Chinese rare books, such as “Zushoryō Tenseki Kaidai: Kanseki-hen” (1960) published by the Imperial House Library. The research method employed data collection on all the bibliographic categories, including traditional fourfold bibliographical classification, title of the book, volume number, author, facts of publication, classification number, seal imprint, note and etc. The results accomplished the basic analysis on “Classified Index of the Former Chinese Classics Collection of the Tokuyama-Mori Clan Held by the Imperial House Library”.

研究分野：中国文学

キーワード：徳山藩毛利家 毛利元次 棲息堂 漢籍





